

特定非営利活動法人

市民ユニットりぼん

第9回総会議案書

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議
 - 第1号議案 2006年度活動報告の件
 - 第2号議案 2006年度決算報告の件
 - 第3号議案 2007年度活動方針の件
 - 第4号議案 2007年度予算の件
 - 第5号議案 定款変更の件
 - 第6号議案 理事選任の件
6. 議長・書記 解任
7. 閉会



開催日時：2007年5月19日（土）10:00～12:00

交流会 12:00～14:30

開催場所：横山南市民センター2F和室

第1号議案 2006年度活動報告の件

◆ 定款に沿った活動を行いました。

(目的)

第3条 この法人は、市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、第3条の目的を達成するために、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するために、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。

- (1) 在宅自立援助に関する事業
- (2) 介護保険居宅介護支援事業
- (3) 介護保険訪問介護事業
- (4) 介護保険通所介護事業
- (5) 介護保険予防訪問介護事業
- (6) 介護保険予防通所介護事業
- (7) 障害福祉サービス事業

介護サービスりぼん・たすけあいワーカーズりぼん

1、事業報告

①2006 年度方針の達成度

- ・本人の望む生活の理解と支援 / 概ね出来た
- ・本人が安心して介助が受けられるような技術の獲得 / 概ね出来た
- ・介護保険事業においては特定事業を目指す / 指定を取ることは出来なかった

②事業実績

事業名	月次ケア目標時間数	2006 年度実績 (月平均)	従業者の人数
介護保険訪問介護	700 H	718H (4月実績 400h)	常勤 2人 準常勤 2人
支援費居宅介護	350 H	355H (4月実績 350h)	非常勤 1人 登録 32人
ACT 提携	80 H	204H (4月実績 270h)	
クリーン隊			
合計			

③評価と課題

目標	評価	課題	対策
責任あるサービスを行います ①危険管理、危機管理、課題解決を行います	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の共有、週末に次週のケア変更の確認を行った ・事故報告、ひやりはつとは浸透してきた 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者不在の場合が多々あった (ヘルパー不足から夕方の時間帯に多く集中) ・当日、登録ヘルパーの体調不良に対応できない場合が発生 ・事故、ひやりハットの検証が出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤者のケア時間を減らす ・学習会で検証し、再発防止に努める
責任あるサービスを行います ②職員の働きやすい環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な利用が勧められケア内容が整理された (時間の短縮、朝夕のケア増加) ・チーム会議の開催ができ切れなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の適正な利用が勧められ、登録ヘルパーで対応できない事態が発生した。(朝夕のケア増) 朝夕の時間帯への対応をどうするか 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の時間帯を出来るヘルパーの確保。現ヘルパーの開拓
職員の介護技術、及び問題意識の向上を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談ができなかった ・研修を開催することはできた ・学習会を各3回開催した ・ひやりハットの未浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ・必須研修、学習会へ不参加の人がいる 出席率 65%~70% ・ひやりハットは事故にならなかった場合報告されない場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけ ・欠席の理由の把握 ・報告の必要性を再確認する

利用者のニーズを的確に介護計画に反映し、実行します	・状況変化の多い利用者ではできなかった ・介護計画作成、検討のためのチーム会議の開催ができなかった	・チーム会議開催の時間確保が難しかった	・夜、土日の開催も考える
課題については「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます	参加できた	・カンファレンス後のチーム会議の開催ができなかった	
当事業所において提供困難なサービスについては他団体を紹介する。そのためにも地域のネットワークを構築する	紹介できた	情報不足な面があった	情報交換を行う

研修報告について

① 必須研修

1、介護技術・・・19名（出席率 57%）

2、コミュニケーション・・・25名（出席率 75%）

各研修とも複数回の開催だった全員の出席には至らなかった

必要性を感じていない

受講の意思がない

② 事前研修について

行えた

③ 学習会について

* 行えた

* 出席者に偏りがある

* 定例会後、第一土曜日（事務所）、第二水曜日（ひだまり）と毎月3回開催したが全員の出席には至らなかった・・・開催日を業務ニュース、FAX等で知らせたにも関わらず出席されない人がいる

3 苦情事故等報告

区分	件数	主な内容
苦情	6	サービスの質、職員の態度、
事故	43	ケア忘れ、遅刻、破損など
ひやりはっと	10	ケア先勘違い、準備品の忘れ

ケアプランサービスりぼん

1. 事業報告

① 2006 年度方針達成度

[利用者の自己決定の支援、尊厳の尊重、本人、家族が望む生活の実現]

- ・ 適時、サービス担当者会議を開催しチーム全体で自己決定の支援、望む生活の実現に近づけることができた。

② 事業実績

事業名	事業内容	目標担当件数	2006 年度実績	従業員の人数
居宅介護支援	援助計画作成	840 件	761 件 (2 月末)	常勤 2 非常勤 1
地域援助	相談業務		8 件	同上

③ 評価

目 標	評 価	課 題	対 策
特徴ある事業所を目指し地域へアピールすることで事業所の経営維持を図ります。	認知症プランに強い事業所となる為、積極的に研修に参加し知識の習得に努めたが経営維持には繋がらなかった。	事業所が増えたことは利用者にとって選択肢が増えたことでもあり良質の事業所であることが分かる基準がない	機会ある毎に事業所のアピール、営業を行う
相談機能の充実を図り適時相談に応じます。	事業所近隣、知人等からの相談が多かったが、適時相談に応じたり、関係機関の紹介をおこなった。	相談窓口としてのアピールが不足していた。	事業所に掲示し気軽に相談できる窓口となり 必要に応じて地域包括支援センターと連携していく
セルフプラン支援を行います。	セルフプランの説明を行ったが実施されなかった。	セルフプランの情報が知られていない。	新規契約時にセルフプランの情報を伝えていく
介護給付支援に専念します。	専念出来た。	担当件数減少となる。	介護給付に移行したときの受け入れ先として体制
予防給付に移行する利用者の生活が不安なく継続できる様支援します。	八王子市基本様式を用い情報提供を行った。 又、利用者に対して移行する前の説明、移行してからの相談を行い不安の解消を図った。	引き続き八王子市の指示に従い継続していく。	今後も、引継ぎ時には同行訪問し不安なく在宅生活が継続していける様支援をしていく

自己評価を継続的に 行い、力量不足の強化 に努めます。	自己目標、利用者支援 の評価も行い、力量不 足項目の分析を行い質 向上を図った	客観的な視点を持つ機 会が少なかった。	アンケートや業務会議内で 客観的にマネーজে メント方法を分析し研 鑽に努めていく
-----------------------------------	--	------------------------	--

2. 研修報告

- ・ 現任研修
- ・ 認知症ケアを考える (ACT 主催)
- ・ 認知症について考える (東京都主催)
- ・ 笑う介護士 (八王子市事業所連絡会主催)
- ・ 介護保険改正後の現状 (八王子市居宅支援事業所連絡会主催)
- ・ コミュニケーションスキルアップ研修 (ACT 相互サポート事業主催)

3. 苦情事故等報告

区分	件数	内容
苦情	0 件	
事故	2 件	サービス事業所にキャンセルの連絡を忘れ、ヘルパーが利用者宅に行っ て しまい、キャンセル料が発生した

ひだまりの家

1. 事業報告

① 2006 年度方針の達成度

- ・ 利用者や家族のニーズにできる限り応えることができた
- ・ 利用者の状況変化等に関して居宅介護支援専門員との連携が図れた

② 事業実績

事業名	事業内容	目標件数	2006年実績	従業員の人数
介護保険 予防通所介護	機能訓練 身辺介助等		106件	常勤 1人 準常勤 1人 非常勤 11人
介護保険 通所事業	機能訓練 身辺介助等	1800件	1487件	

③ 評価と課題

目 標	評 価	課 題	対 策
居宅介護支援事業所との連携をすすめます。	より良いサービスを提供する為に、連携をとることができた。	毎月報告をしていきたい。	日報を活用し、早めに報告をしていく。
コーディネート機能を確立し、利用者、家族の意向をサービスに反映させます。	日々の利用の中や訪問・電話での聞きとり、アンケート調査の結果等、サービスに反映できた。	引き続きアンケートの実施や聞き取りなどでニーズを見極めていく。	職員間で共有し、機能確立をめざす。
利用者の在宅生活が継続できるように支援します。	個別ニーズの把握に努め、必要な支援を行うことができた。	利用者の残存機能を活かし、それに伴う支援を怠らない。	機能維持を心がけ、一人ひとりに合った活動を取り入れていく。
職員別研修等により、サービスの質を高めます。	研修を受けることができ、会議や回覧を通して共有することができた。他施設見学も実施できた。	必要性のある研修の充実を図る。他施設見学や交流を深めていく。	サービスに必要な事前準備を含め、水曜日に取り入れていく。
ボランティアの活用等、利用者の利益の拡大を図るよう務めます。	ボランティアなど多様な人々との交流を持ち外出の機会を増やすことができた。又、研修生の受け入れも積極的にできた。	地域、近隣との交流をより一層、図っていく。ボランティアの拡大を図り、引き続き外出の機会を多く持てる様にする。	ボランティアのコーディネートの実施を行い、継続ボランティアの確保をしていく。

④ 研修報告

- [外部研修]・レクリエーション・笑う介護士・フットケア・認知症ケア・感染症予防
 ・嚥下障害の理解・食事の工夫で高血圧予防
- [内部研修]・尊厳・車椅子・ノロウイルス対策・リスクマネジメント・救急救命
 ・マニュアルの見直し(緊急時対応・認知症ケアなど)・個人情報保護

⑤ 苦情事故等野報告

区 分	件 数	内 容
苦 情	0 件	
事 故	9 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車輛（スライドシート関連）・プログラム記入漏れ ・ 食品以外のものを口に入れる ・ 作業途中の雑巾に針がささったままの状態での放置 ・ ソファの端に座り倒れる
ヒヤリハット	8 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車輛（スライドシート関連）・イスからの移動時 ・ 食品以外のものを口に入れそうになる ・ 危険な物（ハサミ等）の置き忘れ ・ 和室の段差踏み外しそうになる ・ 雨天時のスロープで滑りそうになる

⑥ 人事採用報告

- ・ 運転手 1 名
- ・ 介護職員 1 名

⑦ 研修生受け入れ報告

- ・ 梶田中学校
- ・ 教職員実習生（日本大学生）

総務

- 労務管理、財務管理を実施しました。
- 個人情報保護
 - ① 職員向けの教育研修を部門管理者と共に実施しました。

➤ 安全衛生管理

- ① 毎月衛生委員会を開催しました。
- ② 安全運転講習会を開催しました。
- ③ 職員向けメンタルヘルスケア研修を開催しました。
- ④ 職員の疲労蓄積度自己診断チェックを実施しました。
- ⑤ 従業員健康状況報告

	人数
労災申請	0人
勤務制限必要者	0人
休業必要者	1人
出勤停止者	0人
復職者	1人

➤ 研修報告

- ① 衛生管理者研修参加

会員活動

2006年度活動方針の達成度

地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。その方法として会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます。

／今年度は公開講座などに新規に取り組んだことで活動は広がったが、参加に偏りがあり、会員挙げての活動になりきらなかった。

① 地域活動

ACT いきいきサークル支援	「囲碁サロン」「絵画クラブアトリエ友」「すぽっと*ひだまり」の活動場所にひだまりの家を提供、地域交流の活動を支援した。実績は下段表の通り。
広報	年4回、春・夏・秋・冬号を各 280 部発行。 会員、利用者、行政、地域の関係者、関係団体等加えて「公開講座参加者」に配布した。 メイン原稿は「地域の福祉活動」をテーマに取材を行った。 ボランティアという位置付けのため、編集作業の連携がうまく回れず、予定日程どおりに作業が終わらないこともあった。 法人として、広報をどう位置付けるかの検討が課題。
ACT 公開講座	ACT と連携し、2回の公開講座を実施した。 第1回 認知症ケアを考える「私は心もからだも生きています！」 第2回 フットケア講習会
障害者就労支援	地域の障害者団体と話し合いはもったが、取り組むまでに至らなかった。
出前介護教室	開催できなかった。
交流会「結びの会・りぼん」	45人の参加。 中学生の楽器演奏やダンスパフォーマンスもあり、年齢を超えた交流会となった。
被災地等への寄付金活動 (いちよう祭りでのバザー)	いちよう祭りの市民活動協議会担当「わくわくひろば」に参加し、収益金16,119円を長岡自閉症親の会へ寄付することができた。
在宅心身障害者緊急一時保護登録支援	毎月利用者 3名 臨時利用 1名 / 40件
市民運動・政策提言	ACT、八王子障害者団体連絡協議会、夕焼けの里地域福祉フォーラム、生活クラブ運動グループ、八王子市民活動協議会等と連携し、共通課題について政策提言を行った。

② 法人内活動

ひだまりの家支援	庭係りとして、月一回畑や花壇の手入れを行い、ひだまりの家の活動を充実させることができた。
介護サービスりぼん支援	「介護サービス勉強会」開催/9回 「介護サービスワンポイント実技講習」開催/1回

救急救命講習会	参加者は6名を少なかったものの、一人ひとりが確実に習得することができた。
まちづくり隊	八王子子ども家庭支援センターより出前講座をうける。 「今、八王子の子ども達は」 参加者：16名

ACTいきいきサークル活動報告

① すぼっと*ひだまり

5/17	ACT 代表者会議事前打ち合わせ	
5/27	ギターライブ	参加人数 28名
7/22	親子でポーセリン	参加人数 16名
9/13	ACT 居宅支援事業所連絡会議	場所変更
10/6	リレートーク	
10/28	子ども家庭支援センター 出前講座「今、八王子の子ども達は」	参加人数 16名
3/11	タップダンスを踊ろう！	参加人数 26名

② 囲碁サロン 開催10回

③ 絵画クラブアトリエ友 開催12回

第2号議案 2006年度決算報告の件

第3号議案 2007年度活動方針の件

○ NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

○ 市民によるたすけあいの理念とは

- ・ お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします。
- ・ 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します。
- ・ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります。

○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・ 経営基盤の確立
- ・ 利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・ 利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。
- ・ 地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行う等の地域との交流に地域福祉サービスの拠点を目指します。

■ 安定した経営基盤の確立をめざす。

平成 18 年度は 4 月の介護保険改正で、利用の適正化が図られ（実質、利用に制限が加えられ）たことでこれまでほど介護保険の利用ができなくなったことも影響して訪問介護部門においては、介護保険の利用が伸び悩みました。それに反比例して ACT 自立援助サービスの利用が増大しました。

ACT 自立援助サービス事業は収益の見込めない事業であることから、今後は介護保険事業および障害福祉サービス事業とのバランスを取りながらの経営を余儀なくされる状況にあります。又居宅支援部門でも、家族が介護疲れの為入所を希望したり、骨折等で入院すると他の病気も併発し長い入院となり相談援助は継続していてもプラン作成には結びつかないという状況があり、経営的には厳しい状況です。通所部門も市内にこれまで少なかった小規模型通所施設がかなり増えました。施設が増え選択の中が広がったことは利用者にとって喜ばしいことですが、経営的には厳しい状況になります。又利用者の身体状況の変化も大きく施設への移行も始まっています。

経営の安定の為に、各事業部門とも「特色ある良質のサービス」を提供していく必要がこれまで以上に求められています。

数量的な目標を設定し、100%の達成を目指します。

■ サービス提供体制強化のための方策

- 「チーム会議」「職員会議」「ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図りことで、やりがいのある職場を目指します。
- 法人各事業所共通の「ケアサービスの質の向上」をめざし連携をとりながら、スピーディな決定と実行をめざします。
- 各事業所の経営体制を上記 1 の目標を達成するため、理事運営会議及び管理者会議において、各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止することでケアサービスの質の向上を目指します。
- 個人情報保護に取り組みます。
- 介護サービス情報の開示を実施します。
- 職員の意識改革と資質の向上（各種研修への積極的参加により各職種ごとのスキルアップを図る）を図ります。
- 職員の健康に配慮し、より良いサービスの提供に努めます。

- 子育て支援を目的とした新規事業にチャレンジします。
○八王子市「親子つどいの広場」委託事業に応募します。

- 「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンに賛同し、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」のための活動を推進します。
○地域包括支援センター等を連携し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりに取り組みます。

介護サービスりぼん・たすけあいワーカーズりぼん

- 1、事業内容：介護保険予防給付事業、介護保険介護給付事業
障害者福祉サービス
自立支援事業（ACT 提携事業、クリーン隊）
- 2、月次目標時間数 介護保険・450 時間/ 障害者福祉サービス 340 時間/ ACT・260 時間

3、従業員数/常勤 2名, 主任ヘルパー 3名 登録 31名

4、事業運営方針

- ・ 本人の望む在宅生活の理解と支援
 - ・ 本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得
 - ・ 責任ある労働の提供
- (1) 責任あるサービスを行います
- ①危機管理、危険管理、課題解決
 - ・ 事故報告、ひやりはっと報告の推進をはかり、解決方法を全員で共有する
 - ・ ケア予定の事前チェックを行う
 - ・ 仕事カードなど情報の更新を適時速やかに行う
 - ②職員の働きやすい環境整備
 - ・ 新規ケア開始時、メンバー交替時に研修を行う（事前研修の現地）
 - ・ サービス提供責任者に相談しやすい雰囲気を作る
- (2) 職員の介護技術及び問題意識向上を目指します
- ・ 事業所の年間計画、職員個別の研修計画を作成、計画に基づいての受講の推進を図る
 - ・ 学習会を業務と位置付ける（月2回の開催を実行し、全員参加を徹底する）
 - ・ 学習会一つのテーマにつき一回限りでなく複数回取り組み、技術、知識の定着を図る
- (3) 利用者のニーズを適確に介護計画に反映し、実行できるようにする
- ・ サービス担当者会議後、10日以内にチーム会議を開催する
 - ・ 介護計画作成のためのチーム会議を開催できるようにする
 - ・ 状況変化、ケア目標の共有が常に出来るようチーム会議を開催する
- (4) 課題について「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます
- ・ 必要があれば当事業所から要請する
 - ・ 利用者の状況報告を書式にて毎月、または適宜ケアマネに報告する
- (5) 当事業所において、提供困難なサービスについては他団体を紹介する
- ・ 公共機関や、インターネットを活用し地域のネットワークを構築する
- (6) 個人情報に取り組みます
- ・ 法人の個人情報保護方針にそって取り組みます

ケアプランサービスりぼん

1、事業内容：介護保険居宅支援事業

2、目標担当件数：53 件/月（管理者兼介護支援専門員 16 件、準常勤介護支援専門員 22 件、非常勤介護支援専門員 15 件）

3、従業員数：3 名

4、事業所運営方針

- ・ 介護保険基本理念である利用者の自己決定の支援、尊厳の尊重を常に念頭におき支援をします。
- ・ 利用者、家族が望む生活が実現出来る様、チームアプローチを充実し支援します。

(1) 従業員の精神的、身体的健康を守りつつ、安定した事業運営を目指します。

要介護者、主介護者の精神的、身体的状況により収入の不安定さはあるが月平均 50 件×11200 円の収入を維持し、努力、工夫を図り経費の削減に取り組みます。

(2) サービス提供体制強化のための方策

- ・「特徴ある事業所」を目指し地域へアピールすることで事業所の経営維持を図っていきます。
- ・相談機能の充実を図り地域に根ざした事業所を目指します。
- ・新規依頼者の同意が得られればセルフプランを支援していきます。
- ・八王子市居宅支援事業所連絡会と連携し利用者が望む生活の確保と尊厳の尊重の為保険者へ提言していきます。

(3) サービス質の向上

- ・事故、ヒヤリハット、苦情を事業所内で共有し再発を防ぎます。
- ・利用者からの評価アンケート（年 1 回）自己評価（年 2 回）を実施し質の向上に努めます。
- ・「特徴ある事業所」として認知症支援に力を入れ、知識習得の為、研修参加、事例検討等を行い研鑽に努めます。
- ・インフォーマルサービスや、地域力を活用したマネジメントを行い希望を持った、楽しい生活が継続できる様、支援します。

(4) 職員の処遇

- ・健康管理 健康診断の実施
- ・会議 朝の 5 分間ミーティング、月 2～3 回の業務会議を実施します。
運営基準の点検、情報の共有化、事例検討を行い客観的な視点で支援が行えるような体制を目指します。
- ・研修 現任研修
ACT 主催研修
八王子市居宅支援事業所連絡会主催研修
外部研修
- ・地域包括支援センターや居宅支援事業所連絡会と連携し必要に応じ助言を受けます。

ひだまりの家

1、事業内容：介護保険予防給付事業、介護保険介護給付事業

2、利用定員：15名／日

3、目標利用者数：9名／日

4、従業員数：常勤1名、非常勤11名

5、施設運営方針：

- ・利用者の尊厳を尊重し、在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。
- ・小規模施設を活かし、家庭的な施設を目指します。
- ・ケアマネージャーとの連携をすすめます。
- ・職員間の連携を図り、サービスの向上に努めます。
- ・アンケート調査を実施し、利用者および家族の意向を反映していきます。

6、主な行事予定

4月	花見	8月	納涼祭	12月	クリスマス会・忘年会
5月	新緑巡り・避難訓練	9月	敬老の祝い	1月	新年会
6月	音楽会・梅干漬け	10月	室内運動会	2月	豆まき・味噌作り
7月	養七夕まつり	11月	文化祭・避難訓練	3月	雛祭り・ひだまり寄席

*

* 毎月、おやつ作り（和菓子中心）を行います。

* お誕生会は誕生日に合わせてお一人ずつお祝いします。

7. 栄養管理

- ・管理栄養士による献立作成を実施します。
- ・季節の素材を取り入れ、個別対応も出来る限りしていきます。
- ・個々の誕生会メニューや行事メニューを取り入れていきます。

8、安全衛生管理

- ・手洗い・うがいを徹底し感染予防に努めます。
- ・食品等の衛生管理に努めます。

9. 危機管理

- ・ヒヤリハット報告を見落とさず、報告していきます。
- ・事故報告・ヒヤリハット報告を共有し、事故の再発防止を徹底します。
- ・職員感の連絡事項の徹底に努めます。（日報・連絡表・休憩室掲示）

10、災害対策

- ・避難訓練 年2回
- ・防災訓練 年1回

11、地域社会との連携

- ・利用者のニーズに応え、地域や他団体との交流を深めます。
- ・内容を具体化し、多様で継続的なボランティアの確保に努めます。
- ・研修生や実習生の受け入れを積極的にしていきます。

12、職員の処遇

- (ア) 健康管理： ・健康診断／年1回 ・検便／年1回
- (イ) 会議： ・職員会議 月1回 ・サービス会議 月1回
・ドライバー会議 随時 ・アクト通所会議 年4回
- (ウ) 研修計画： ・コミュニケーション技術研修・職種別研修
・救急救命講習・感染症について

13、施設管理： ・大掃除／年2回・車いす、備品等の点検／随時・庭の手入れ／月1回

総務

- 法人の円滑な労務管理、財務管理を目指します。

法人事務局

- 法人の円滑な運営の充実を目指します。
 - 1、個人情報保護に取り組めます。
 - ・ 情報セキュリティ委員会を随時開催します。
 - ・ 職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します。
 - 2、安全衛生管理に努めます。
 - ・ 毎月衛生委員会を開催します。
 - ・ 従業員の勤務時間の管理を徹底します。
 - ・ 従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します。
 - ・ 従業員の健康状況を各部門管理者から報告を受け把握します。
 - 3、従業員の通勤の安全支援のために定例会を活用し「安全運転講習会」を開催します。

会員活動部門

地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます。

①地域活動

- ✧ ACT 公開講座を地域で実施します。
- ✧ 「ACTいきいきサークル」の活動の場として、ひだまりの家を提供していきます。
- ✧ 地域の他団体の活動の場として、ひだまりの家を提供していきます。
- ✧ 障害者就労体験の場を提供します。
- ✧ 広報紙を継続して発行します。
 - ◎広報紙「おなほしりぼん」
 - ア. 会員及び地域に向けて、年4回発行します。
 - イ. 法人からの情報発信及び地域の福祉活動取材し情報提供していきます。
 - ◎ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ✧ 出前介護講習
在宅介護初心者の自宅に出向いて介護方法等の講習を行い、介護者を支援していきます。
- ✧ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録を推進します。
- ✧ 交流会「結びの会・りぼん」
りぼん会員、ACT会員、利用者、業務職員の垣根を越えての交流会を実施します。
- ✧ 被災地等への寄付金活動
いちょう祭り等を活用して、バザー等の売上金を寄付する活動を行います。
- ✧ 市民運動・政策提言
 - ◎地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会と連携して課題に取り組んでいきます。
- ✧ 他団体と共に地域福祉の向上及びまちづくりのための政策提言活動を行います。
- ✧ 地域包括支援センター等と連携し、「認知症を知り、地域をつくる10ヶ年計画」を推進します。

②法人内活動

- ✧ 街づくりの活動に取り組みます。
- ✧ ひだまりの家支援を行います。
 - ◎庭作り支援ボランティア
 - ◎登録ボランティア
- ✧ ホームヘルプ部門支援をします。
 - ◎ヘルパースキルアップ支援（勉強会、ワホ[®] イト実技ボランティア）
 - ◎実習生研修時のボランティア
- ✧ 救急救命講習を実施します。
- ✧ 子育て支援のボランティアを推進します。

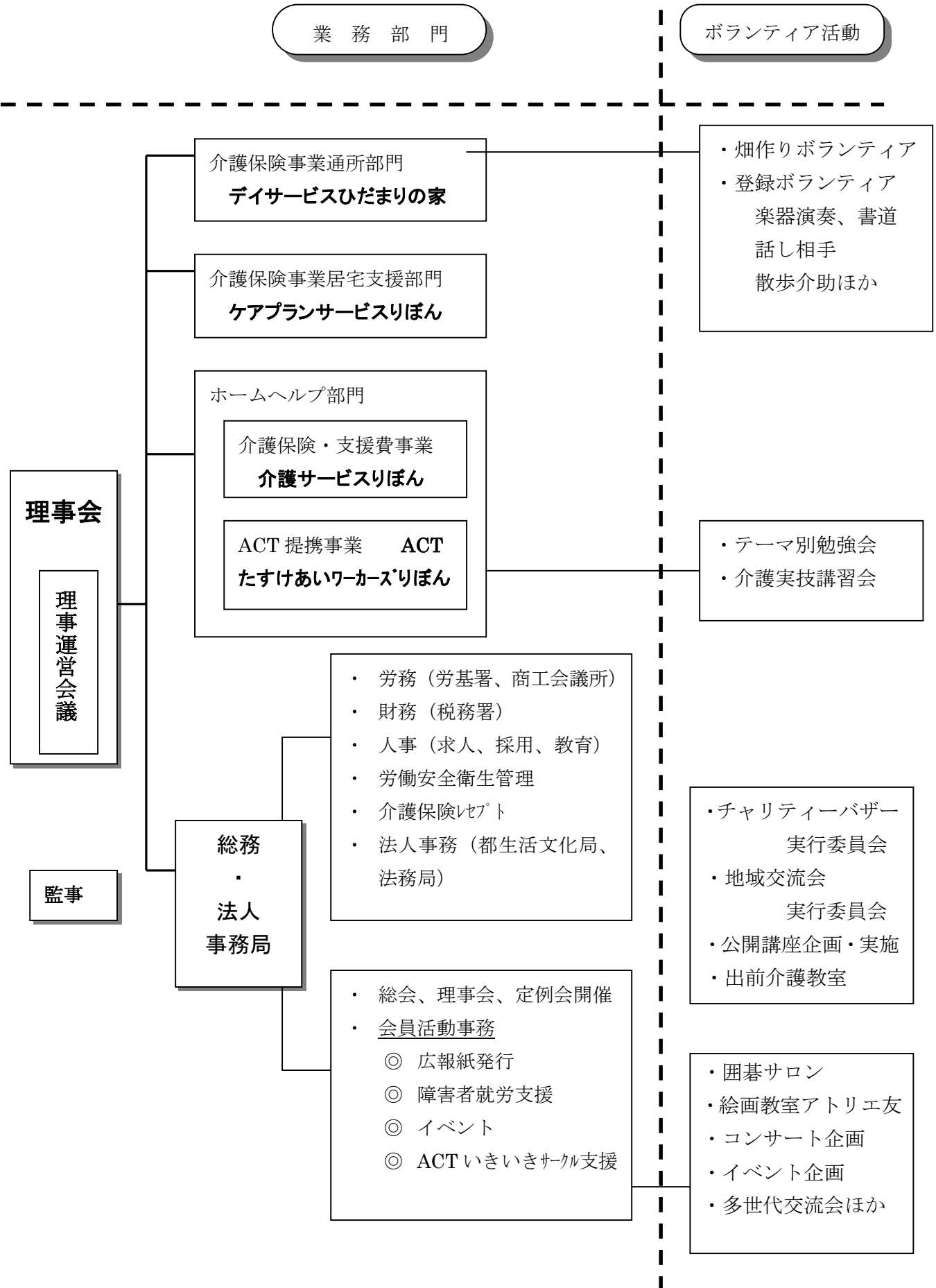
***** 2007 年度 年間行事（日程、内容は変更することもあります） *****

月	内 容	ボランティア 募集人数
4 月	広報春・夏・秋・冬号	広報世話人
5 月	2006 年度総会后交流会実行委員会	
6 月		
7 月	実習生研修時ボラ / 7 月 5 日（木）、6 日（金）	
8 月	ACT 公開講座	当日世話人
9 月		
10 月	地域交流会「結びの会・りぼん」	5 人
11 月	被災地寄付金活動（いちょう祭り）	5 人
12 月		
1 月		
2 月	実習生研修ボラ / 2 月 7 日（木）、8 日（金）	
3 月	救急救命講習	2 人
4 月		
5 月	2007 年度総会后交流会実行委員会	5 人
<ul style="list-style-type: none"> ・すぽっと*ひだまりイベント登録ボラ 5 人 ・「ひだまりの家」庭作りボラ 5～10 人 ・「ひだまりの家」登録ボラ 3～5 人 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生研修時ボランティア 3 人 ・ 介護サービス実技ボラ 2 人

*ひだまりの家「庭係り」の活動日は、毎月第3金曜日 午後2時～1時間程度
(12月、1月、2月はお休みです)

作業の後、お茶を飲みながらのおしゃべりも楽しんでいます。

お手伝いしていただける方を募集しています。



第4号議案 2007年予算(案)の件

第5号議案 定款変更の件

法制度の改正に伴い以下のように変更します。

変更前	変更後
1. 自立援助に関する事業	1. 自立援助に関する事業
2. 介護保険居宅介護支援事業	2. 介護保険居宅介護支援事業
3. 介護保険訪問介護事業	3. 介護保険訪問介護事業
4. 介護保険通所介護事業	4. 介護保険通所介護事業
5. 介護保険予防訪問介護事業	5. 介護保険予防訪問介護事業
6. 介護保険予防通所介護事業	6. 介護保険予防通所介護事業
7. 障害福祉サービス事業	7. 障害福祉サービス事業
	8. 地域生活支援事業及び移動支援事業

第6号議案 理事選任の件

理 事 鈴木 真砂子

 平野 みよ子

 早川 寛子

 井上 智恵

 高田 秀子

 上村 ひろみ

 澤 さおり

 大森 一美

 井上 富士子

 浜口 龍太

 稲田 広子

監 事 海老名 邦彦